

ウイルス性肝疾患に対する新規治療法に関する検討について

<背景>

11月16日に開催された第206回中央社会保険医療協議会総会において、テラプレビルの薬価について審議され、11月25日に薬価収載されることとなった。これにより、C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン、リバビリン及びテラプレビル3剤併用療法が保険適用となるため、医療費助成制度において、どのように取り扱うべきか、対応方針を検討する必要がある。

<検討事項>

- ①医療費助成制度の対象とすべきか。
- ②対象とする場合、条件を設定する必要があるか。
 - ・ 対象患者の条件
 - ・ 治療回数
 - ・ その他